

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 28 年度第 2 回高松市放課後子ども総合プラン運営委員会
開催日時	平成 29 年 2 月 27 日(月) 9 時 30 分～11 時 00 分
開催場所	高松市役所 3 階 32 会議室
議 題	(1) 放課後子ども総合プランの現状と今後の見通しについて ・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）について ・放課後子ども教室推進事業について ・放課後児童クラブ・放課後子ども教室一体型について (2) その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	
出席委員	清國委員、山下委員、石原委員、谷井委員、山下委員、那須委員、鴨委員、長町委員、鎌田委員、東原委員 計 10 人
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課及び連絡先	子育て支援課放課後支援係 839-2354

会議の経過及び結果
会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。 ○議題 (1) 放課後子ども総合プランの現状と今後の見通しについて 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）及び放課後子ども教室推進事業、放課後児童クラブ・放課後子ども教室一体型の現状と今後の見通しについて、事務局から説明し、以下のとおり意見があった。 ○放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）について (委員) 現在、自分の受け持っている放課後児童クラブでは、待機児童解消の観点から定員の割増で児童を受け入れしているが、プレハブ内は非常に密集しており、児童数が多いため、トイレや手洗い場所が足りていないのが現状である。現在市で取り組んでいる施設の増設を進めていくとともに、各施設のトイレや手洗い場の数を充実させてもらいたい。環境整備についてももう少し考慮してほしい。 (委員) 各放課後児童クラブの現状を把握し、それに沿った整備計画を示してもらえると現場としても見通しがつくので良いのではないかと。 (事務局) トイレや手洗い場の数については不十分であると認識している。新しく増築す

る放課後児童クラブについては、児童数に見合った数を設置する予定で進めており、他の放課後児童クラブについても児童数の多い校区から順に計画的に整備していくよう検討している。

○放課後子ども教室事業について

(委員)

放課後子ども教室にスタッフとして参加していて感じることは、開設に至るまで大変なこともあったとしても、実際開設してみれば良かったと思えることがたくさんあると思う。未実施校区の方にも前向きに考えてもらいたい。

(委員)

スタッフの確保が難しい。自分の校区ではPTA役員の方に協力してもらって運営しているのだが、仕事をされている方も多く、年度ごとに役員が交代することもあるのでスタッフの体制を固めていくことが大きな課題となっている。また、PTA役員の方だけでは人手が足りない場合は、その他の地域団体の方に協力依頼をしてお手伝いいただくとともに、その地域団体の活動にも参加し、協力し合うことで地域全体で連携しながら活動を行っている。

(委員)

地域の中に子どもたちの拠り所となるような場所があれば、より一層地域への愛着が高まると思う。そうした場所として放課後子ども教室が果たす役目は大きいと思う。

(委員)

放課後子ども教室を運営するのはその校区の人でなければならないのか。外部の人に委託するという手はないのか。

(事務局)

現状としましては、地元の方が運営の主体として動いてくださっている校区が多い。理由として挙げられるのは、人材の確保や場所の確保等を行うにあたって、地域に根付いた方の方が人脈があり、取りまとめがしやすいためである。市から開設を働き掛ける際には地元の方に依頼している。

(委員)

地元の方だけでは、新しい行事が増える、つまり仕事が増えるという認識が生まれ、抵抗感があるのかもしれない。また、地域によっては高齢化していたり、仕事をしているため外に出て行ってしまっていたりして運営の主体が見つからないこともあると思う。そうした時に、NPO等の力を借りることができれば良いのではないかと思う。ひとまず放課後子ども教室の立ち上げはNPO等にお任せし、運営の主体として動くことはできなくても、活動スタッフとしてお手伝いしたいと思っている人は少なからずいると思うので、そうした人を徐々に巻き込んで地域全体で関わりながら活動していけば良いと思う。

(事務局)

そのような観点でも捉え、新規開設校区を増やしていきたいと思う。

(委員)

放課後子ども教室に子どもたちが参加する目的を見出す必要があるのではない。例えば、各校区放課後子ども教室対抗のスポーツ大会を開催するなど、今までに実践したことのないものを企画することも必要だと思う。

○放課後児童クラブ・放課後子ども教室一体型について

(委員)

一体型については、子どもたちの中で放課後子ども教室に参加する子、参加しない子それぞれがいるため、子ども間で温度差があり、それをまとめるというのは放課後児童クラブ側の負担になる部分があると思う。また、子どもたちの中で違う時間軸が流れるので、クラブに戻ってきた際に、宿題をしないといけない子、自由に遊ぶ子など対応を変える必要があり、クラブの職員数をもっと増や

す必要が出てくる。市にも人材の確保をお願いしたい。

(委員)

放課後児童クラブとしては、放課後子ども教室が何をしているのか分からないので実際に活動を見てみたいと思う。そうすると、放課後子ども教室で何があったのかが大体把握できているので、子どもたちのフォローもしやすい。

(委員)

放課後児童クラブの児童数が少ない校区であればクラブの支援員も一緒に参加できると思うが、児童数の多い校区になると難しい面が出てくるのではないか。

(事務局)

頂いたご意見を参考にして、各校区に働きかけていきたいと思う。

(2) その他

その他、委員から特に意見はなく、以上をもって、本日の会議を終了することとした。

以 上